

事務事業名		農地法等に基づく許認可事務事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業																									
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		予算科目																									
	施策名	20 産地化をめざした農林業の振興				会計	款	項	目																						
	基本事業名	01 農業経営の安定化				01	06	01	01																						
根拠法令		農地法		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		02																									
所属	部課名	農業委員会事務局		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和27 年度～)																											
	課長名	近江 学		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】																											
	係名	農地係	電話	27-3111	年度～ 年度																										
	担当者	細谷 真実	内線	356	※全体計画欄の総投入量を記入																										
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																											
<p>農地法に基づく農地の権利移動の許可等の法定業務の遂行。</p> <p>主な事業内容</p> <p>①農地法にかかる申請の受付・審査業務</p> <p>②総会業務(総会の招集、開催・議案の調整・申請地の現地調査資料の作成)</p> <p>③許可業務(総会で許可とされた議案を県の諮問を経た後、許可決定通知書を送付)</p> <p>総会前には、事務局・担当地区農業委員が事前に現地調査を行う。</p> <p>主な支出</p> <p>①農業委員の総会に係る費用弁償</p> <p>②県の諮問会議への出席旅費</p> <p>③総会会議録反訳料</p>				<table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="4">事業内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>				総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計(A)	0	人件費		正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)	0	トータルコスト(A)+(B)	0
総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金																													
		都道府県支出金																													
		地方債																													
		その他																													
	一般財源																														
	事業費計(A)	0																													
	人件費																														
正規職員従事人数																															
延べ業務時間																															
人件費計(B)	0																														
トータルコスト(A)+(B)	0																														

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
農地法に係る許可申請の受付・審査(毎月)・許可業務		ア	申請受理件数
総会の開催(毎月)・または開催のための役員会		イ	総会開催数
許可後の工事進捗状況調査を実施、報告書等を求めた。		ウ	
今年度計画(今年度に計画している主な活動)			
前年度と同じ。			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
農地法に係る許可申請対象農地		名称	
		単位	
		カ	申請農地面積
		キ	
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
法律に則った権利の設定・移動がなされる。		名称	
		単位	
		サ	許可件数
		シ	転用後の工事進捗状況報告件数
		ス	
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
農地の効率的な利用や経営の安定が図られ、農産物が安定して高く売れる。			

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業内訳	単位	年度					
			23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)
事業費	国庫支出金	千円						
	都道府県支出金	千円	281	758	805	782	772	760
	地方債	千円						
	その他	千円						
事業費	一般財源	千円						
	事業費計(A)	千円	281	758	805	782	772	760
人件費	正規職員従事人数	人	3	4	4	4	4	4
	延べ業務時間	時間	2,000	2,950	3,150	3,200	3,200	3,150
	人件費計(B)	千円	8,000	11,800	12,600	12,800	12,800	12,600
	トータルコスト(A)+(B)	千円	8,281	12,558	13,405	13,582	13,572	13,360
⑤活動指標	ア	件	312	408	325	283	280	270
	イ	回	13	13	13	14	13	13
	ウ							
⑥対象指標	カ	m ²	224,910	435,285	315,203	320,196	250,000	250,000
	キ							
	ク							
⑦成果指標	サ	件	312	408	325	281	280	270
	シ	件	40	59	238	336	350	300
	ス							

事務事業ID	0742	事務事業名	農地法等に基づく許認可事務事業
--------	------	-------	-----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 昭和27年の農地法制定による。	
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 平成19年度に農地法第4条及び第5条に係る事務等を、岩手県から大船渡市に権限委譲された。 平成21年度12月の農地改正に伴い、大船渡市では、平成22年度以降農地取得の面積要件を緩和し、50アールから10アールに引き下げた。 平成20年度から、転用件数は減少傾向にあったが、震災を機に平成24年度～26年度にかけ3～4倍に増加した。 平成25年4月から、転用許可申請の添付書類に残高証明書若しくは融資証明等経済状況を確認できるものが必須項目となった。(以前は省略) 平成26年より農地中間管理事業業務が追加され、平成27年度には、農地を「所有から利用へ」という主旨に沿った法改正がなされる見込みである。	
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ ・市議会議員から、「復興整備事業に係る土砂仮置場(一時転用)の申請を省略するなどの特例措置ができないか。」との一般質問があった。 ・許可申請者からは、「残高証明書は、通帳の写しで代行できないか。」との要望があった。	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 法に則った農地の権利の移動・設定を行うことにより、農地の適正な利用が図られる。このことにより、農業の振興という施策に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 農地は、食料生産資源のひとつであり、無秩序に権利の移動・設定(転用を含む)が行われると、食料の安定した生産に支障をきたすため、公的規制が必要である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 農地法の規定に則しており、類似した法律もないため、対象・意図は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 震災後、提出の遅れている改良農地の工事進捗状況報告を確認することで、転用事業の変更や許可の取消し等の適正な指導ができる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 農地の権利の移動・設定(転用を含む)が無秩序に行われると、効率的な農地利用が困難になり、食料自給率が下がる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 農地法に規定されており、類似事業はない。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 事業費は農業委員の総会出席のための費用弁償と岩手県の諮問会議への出席旅費、総会会議録反訳委託料である。専門委員会等の会議録を要点議事録にすることで削減の余地がある。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 震災後増大した事務量に対応するため、2つの補助事業を活用し、臨時職員を配置し、人件費を抑制しており、これ以上の削減余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 岩手県から大船渡市に権限委譲されている事務であり、受益者負担を設定することができない。

事務事業ID	0742	事務事業名	農地法等に基づく許認可事務事業
--------	------	-------	-----------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
<table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>・申請全件を総会審議を開催し、県の諮問を受け、許可をした。</p> <p>・転用許可後の工事進捗状況調査を臨時職員を配置して実施し、報告書を求める等適切な指導をしたが、全件処理に至らなかった。</p> <p>・震災により増大した事務量を処理するため、2つの補助事業を活用して臨時職員を配置するとともに、農地台帳システムを活用することで人件費を抑制した。</p> <p>・農業労賃設定事業の反訳を要点議事録に変更した。</p>								
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																			
<p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>・27年度には、県内3市町の対口支援を受けることになり、工事進捗状況調査に加え、農地改良届の確認も行うことで、適切な転用事業の実施のための指導が行き届く。</p> <p>・会議録反訳は、農業労賃設定委員会事業に加え、専門委員会の議事録も要点議事録に変更することで事業費が抑制される。</p>		<p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。</p> <p>(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		コスト			削減	維持	増加	向上	●			維持			×	低下		×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
向上	●																				
維持			×																		
低下		×	×																		
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																					
<p>・対口支援においては、不慣れな土地の調査となるため、臨時職員等を同行させる。</p> <p>・震災以降臨時職員の応募が少なく確保が難しくなっている。</p>																					

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	農業委員会事務局長	近江 学
-------	-----------	------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																					
<p>①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)</p> <p><input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																					
(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由																			
<table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>転用許可後の工事進捗状況の確認の徹底を図る必要がある。また、議事録の作成について、検討の余地がある。</p>								
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
③ 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(5) 改革・改善による期待成果																			
<p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 (<input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善)</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>転用許可後の状況把握の徹底を図るため、報告書等の提出について指導を強化するとともに、対口支援の活用等による現地調査を積極的に進める。また、議事録の作成について見直しを図る。</p>		<p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。</p> <p>(廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		コスト			削減	維持	増加	向上	●			維持			×	低下		×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
向上	●																				
維持			×																		
低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
